

巻頭言 ～ 症状の出にくい心臓疾患（サイレント・キラー）について ～

新型コロナウイルス感染症はこの2年間通常診療に大きな影響を及ぼし、一時は外科手術が制限される状態となっていました。変異株が出現し感染者数の増減はありますが、待機患者さんも安心して医療を受けられる状態へと徐々に改善されてきています。

コロナ禍以前は、心臓疾患に対する日本国内の手術件数は年々増加し、30年前の2.5倍にあたる年間約7万件に達しています（図1）。内科的カテーテル治療（冠動脈形成術）の進歩により、狭心症や心筋梗塞といった心臓の動脈（冠動脈）病変に対して行われる心臓外科手術（単独冠動脈バイパス術）の数に伸びはありません。しかし、手術デバイスの著しい発展により開胸や開腹の必要がなく患者さんの身体への負担を減らした手術（低侵襲手術）として、大動脈瘤の破裂を防ぐためにステントグラフトを用いる手術やカテーテル的に行う大動脈弁置換術などが著しく増加しています。

また、自己弁を温存した僧帽弁形成術の進歩は目覚ましく、適応範囲も拡大し、件数が増えています。さらに、より安全な手技が確立され、高齢の患者さんへの手術も増加しています。

心臓疾患の患者さんの多くは何らかの症状を自覚して自ら受診されますが、まったく症状が無いのにも関わらず手術の対象となる方も多くいらっしゃいます。このような無症状の患者さんを適切に診断し、将来起こりうる危険を回避してあげることが大切です。我々心臓外科医はそのお手伝いができればと考えています。

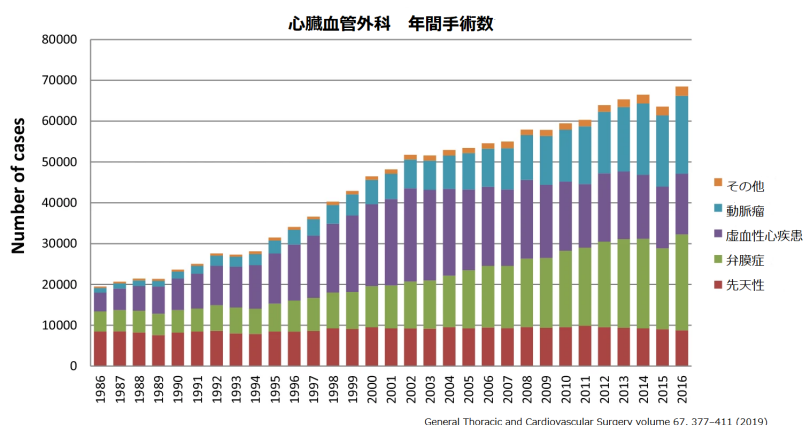
●症状の出にくい心臓疾患その1：大動脈弁疾患

大動脈弁疾患とは、左心室の出口にあり、血液の流れを一方向に維持する役割を果たす大動脈弁が狭くなったり、閉まりが悪くなったりする状態です。左心室の機能が保たれていれば症状がほとんどありません。しかし、症状が現れてからの病気の進行はとても早く、手術後でも何らかの症状が残ることもあるため注意が必要です。健康診断やたまたま受診した際に初めて指摘される場合が多いです。異変を指摘された際には放置せず、速やかに精査を受けることが大切です。

●症状の出にくい心臓疾患その2：大動脈瘤

大動脈瘤とは、大動脈の血管壁の一部が1.5倍以上に膨張し、コブ状に腫れ、突然破裂する病気です。声がかれたり、かすれたりする症状があり耳鼻科を受診した際に大動脈瘤が見つかるケースもありますが、ほとんどは無症状の患者さんです。大動脈瘤の診断は、CT検査等の画像診断が唯一の方法であるため、検診を受けることが重要です。

＜図1：日本国内の心臓血管外科 年間手術数＞



当院の心臓血管外科は、南淵明宏教授を筆頭に年間150～200件の後天性心疾患の手術をおこなっています。現在のチーム（南淵チーム）で再編成され約6年半となりました。これまで多くの症例を経験してきたスタッフで構成されており、心臓血管外科全般に高い技術を備えたチームです。さらに若手医師が加わり、より多くの患者さんへより良い医療を提供できるよう日々努力しています。当院の心臓血管外科で一度心臓の状態をチェックしてみたいかがでしょうか。



＜心臓血管外科 教授＞
＜奥山 浩＞

【医学講座コーナー】 水虫などの白癬について

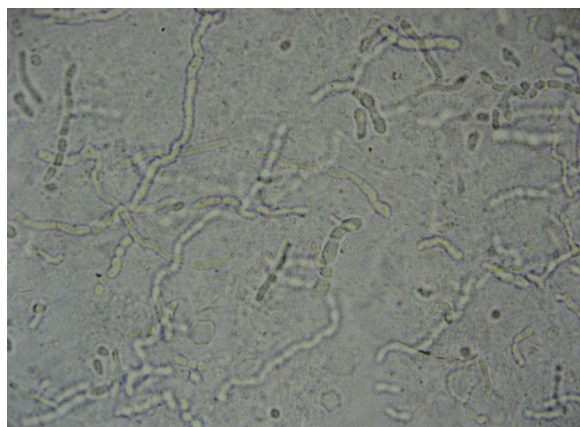
（皮膚科 准教授 保坂 浩臣）

白癬（はくせん）はカビ（真菌）の一種である白癬菌による感染症で、高温多湿となるこれからの季節に注意が必要になる病気です。足に発症したものは通称「水虫」と言われています。水虫（足白癬）は、日本では約2500万人、人口の4～5人に一人がかかっているとされています。水虫は白癬患者の半数以上を占めますが、白癬は足だけではなく全身の皮膚や爪、毛包（頭皮の内側の皮膚組織）などに発症することもあります。

① 白癬について

白癬菌は皮膚の表面の角層や爪に存在するケラチンを栄養として、通常は皮膚の表面の角層や爪、毛包に寄生しますが、そこからさらに深くまで病変がおよぶこともあります。

白癬の診断をするためには、病変部に白癬菌が存在することを確認することが必要です。鱗屑（りんせつ）といわれるかさかさしたところや爪や毛を採取し顕微鏡で白癬菌を確認します。痛みをともなう検査ではありません。場合によっては培養検査をおこなうこともあります。



【写真1】白癬菌

② 白癬の感染経路

直接ないしは間接的に白癬菌が付着することにより感染します。直接的には人の白癬の病変部に触れて感染することが多いですが、犬や猫の病変から感染することもあります。間接的には白癬菌の付着している皮膚や爪が剥がれ落ち、バスマットやスリッパ、絨毯、床などを介して感染します。白癬菌はカビの一種のため高温多湿を好むので、湿った状態や通気の悪い状況はリスクになります。

③ 白癬の病気の種類

最も一般的な白癬は足白癬ですが、足白癬には3つのタイプがあります。

★趾間型

水虫の中で最も多くみられるタイプです。足のゆびのあいだ（趾間）がかさかさしたり、白くふやけてジュクジュクしたりします。

★角質増殖型

足のうらやかかとかたくなり、時々ひび割れも起こします。かゆみがあまりないため、単なる皮膚の乾燥として見過ごされてしまうこともあります。

★小水疱型

足の裏や側面に小さな水疱（水ぶくれ）が多発するタイプです。かゆいことが多いですが、かゆみが出ないこともあります。



【写真2】足白癬



【医学講座コーナー】 水虫などの白癬について

手に発症すると手白癬といわれ、普段あまり動かさないほうの手（利き手ではない手）にできやすいです。ちなみに手の湿疹はよく使う利き手に症状がでやすいという違いがあります。

頭皮にできると頭部白癬（しらくも）、股部にできると股部白癬（いんきんたむし）、股以外の体に生じた白癬は体部白癬（ぜにたむし）といわれ、発疹は中央が淡い褐色で辺縁が紅色の、中央のほうが辺縁と比べて改善しているように見えることが多いです。

また、顔のひげの部位の毛包に生じた白癬を白癬性毛瘡（はくせんせいもうそう）、頭部の毛包に生じたものをケルスス禿瘡（とくそう）といい、赤く腫れて膿がでたり、脱毛をします。病変部の毛は引っ張ると容易に抜けます。

白癬はステロイドを塗ると菌が増えて悪化してしまいます。体部白癬などにステロイドを塗り悪化すると、皮膚の深い部位にしこりができたり、少しもりあがり赤みを伴った病変ができることがあります。これを白癬菌性肉芽腫といいます。

白癬菌は皮膚だけではなく爪にも感染します。爪白癬は爪が白く厚くなりますが、爪の先端からはじまり爪全体に広がる人が多いです。



【写真3】爪白癬

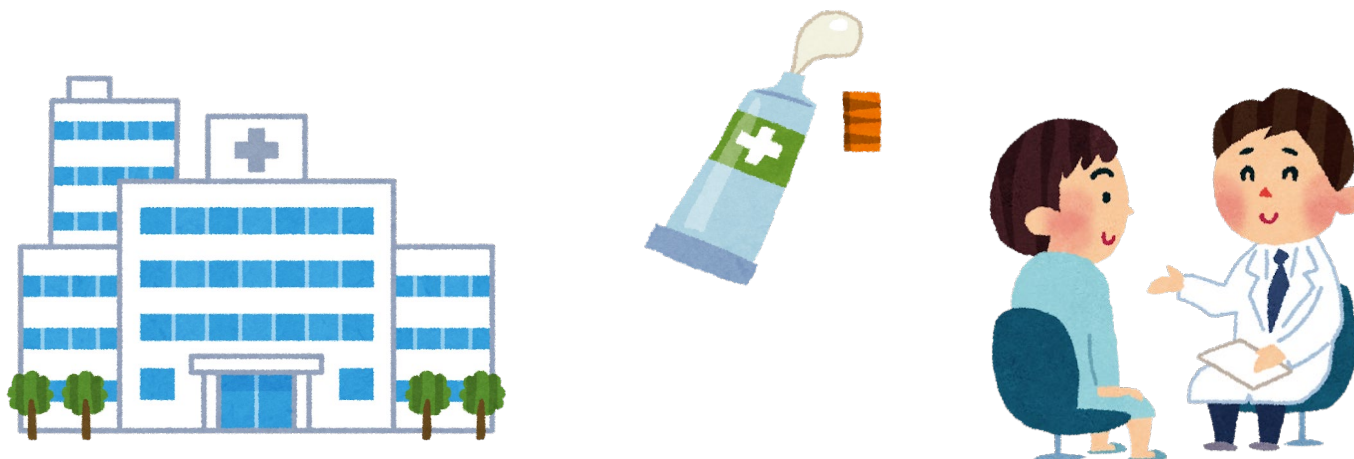
④白癬の治療と予防

抗真菌薬の外用薬または内服薬で治療します。爪白癬は外用治療で治ることもありますが内服が必要なことも多いです。白癬性毛瘡やケルスス禿瘡などの毛包の病変や深い病変の白癬菌性肉芽腫は内服治療が必要になります。抗真菌剤の内服薬は、飲み合わせの悪い薬があったり、副作用で肝機能障害が出ることもあるため注意が必要です。

上記以外の白癬は外用治療をしますが、体部白癬や股部白癬は足白癬と比較し外用する期間は短いです。足白癬は最低でも1ヶ月間の抗真菌剤外用が必要で、足底や趾間で症状のない部位にも外用し、症状がなくなってすぐに外用をやめてしまうと再発しやすいため、かさかさやかゆみなどの症状がなくなってから1～2ヶ月ほど外用を続けましょう。

また、白癬の塗り薬はほかの塗り薬と比較してかぶれやすいため注意が必要です。

予防としては、家庭内では同居家族の足白癬の適切な治療、バスマットやスリッパの洗浄、床の掃除、靴を清潔に保つなどが挙げられます。



【お知らせ】
市民公開講座を開催します

春期市民公開講座 暮らしと健康【がん】

開催日時：

5月28日（土）13時30分～

開催方法：

オンライン開催（LIVE 配信）

**参加費
無料**

第1部

「がんリハビリテーション
～がんになっても自分らしい生活を送るために～」

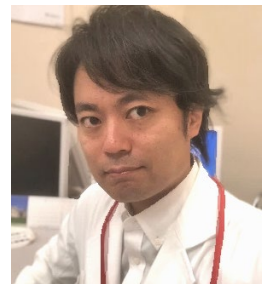
リハビリテーション室 技師長 尾崎 尚代 准教授



第2部

「がん治療における心のケア
～がんの告知・治療にともなう心の痛み～」

メンタルケアセンター 富岡 大 准教授



- 予約は不要です
- どなたでも参加いただけます
- 当日の詳細は当院ホームページに掲載しています
（右記 QR コードからホームページにアクセスできます）



【お問い合わせ】

管理課 企画庶務係 TEL：045-949-7000（代表）

患者さんからのご意見・ご要望

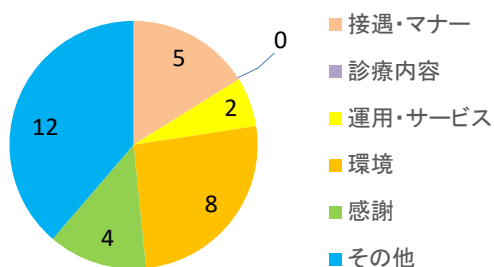
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

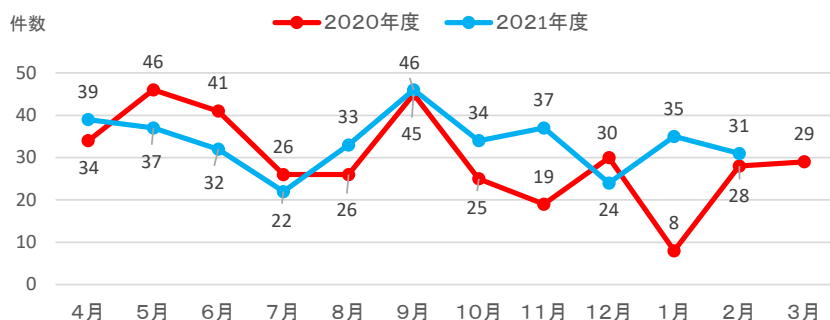
今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
「病院だより」に、医師の異動・退職等の記載がなくなっている。 4～5月時点の新人医師紹介がない。	いつも「病院だより」をご覧いただきまして誠にありがとうございます。 医師の異動・退職についての記事は、2020年4月より「病院だより」での掲載を終了しました。 所属医師の情報については、当院ホームページに掲載しておりますので併せてご確認くださいませと幸いです。 ご理解の程よろしくお願いいたします。 (回答部署：管理課)
車椅子を利用する人にとって、足で押すタイプの消毒液は使えませんよ。	この度は、手指消毒液についてご不便をおかけし申し訳ございません。 車椅子の方が手押しでもご利用いただけるよう、高さ等の調整をいたします。 貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：管理課)
手指消毒液の設置位置について、再来機を使う人が見過ごして、消毒しないで行ってしまっている。 場所を考えた方がよいのでは。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を基に、手指消毒液の配置場所を再度検討いたします。 (回答部署：管理課)

2022年2月
ご意見・ご要望の総計31件



2020年度・2021年度
ご意見・ご要望の推移



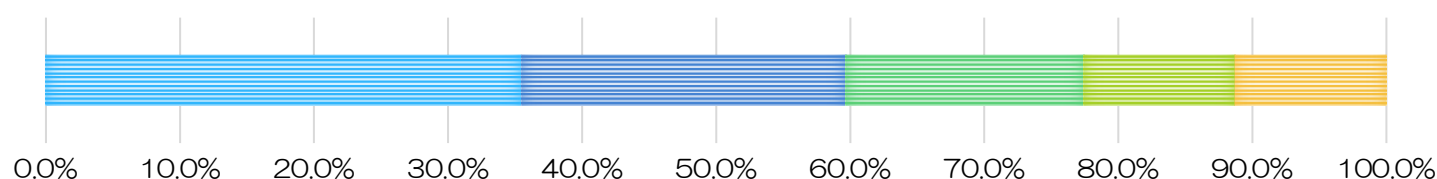
患者満足度調査を実施しました

当院の院内サービス向上をめざして、提供されている院内サービスを患者さんがどのように感じているかを客観的に把握し、改善策を検討するために患者満足度調査を毎年実施しています。今回は外来患者さん 62 名、入院患者さん 305 名にご協力いただきました。ご回答いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

集計結果の詳細は、中央棟 1 階 130 番放射線科受付の横にある掲示板に掲載していますので、ぜひご覧ください。

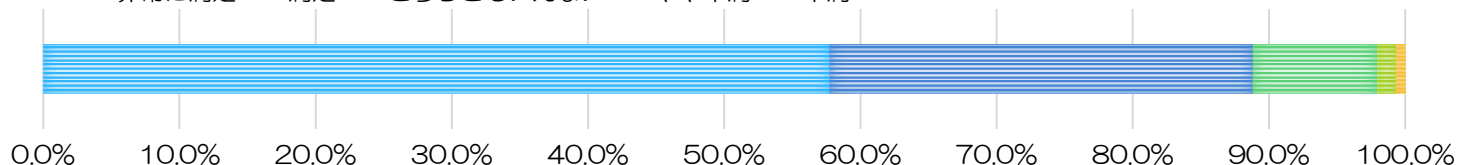
【外来】今回の受診の満足度はいかがでしたか

■非常に満足 ■満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満



【入院】入院中に受けた医療サービスの満足度はいかがでしたか

■非常に満足 ■満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満



編集後記

毎年 4 月のこの欄は広報委員長が担当することが慣例です。ここ 2 年同じようなことを書いています。「来年こそは、密を気にせず春を楽しみたいです」と。残念ながら季節は廻り、3 度目の春を迎えましたが、心安らかに春を楽しむことは出来ません。加えて、今年は緊迫する海外情勢も憂鬱さに拍車を掛けます。しかし、今年も書きます。来春こそは穏やかに春を迎え、家族や友人、仲間たちと存分に愉しむことが出来ますように。

新年度が始まり、研修医や新人スタッフが多く院内を行き交います。まだまだ未熟でご迷惑をお掛けする場面も多々あるとは思いますが、未来の医療を担う彼らの教育・研修にご協力の程、心よりお願い申し上げます。

(広報委員長 緒方 浩顕)



北部病院だより 第166号
2022年4月1日発行

発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)

URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。